オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

～はじめに～

2022 年 11 月 22 日から 25 日にかけて、フィリピン・マニラでグシ平和賞（Gusi Peace Prize）の受賞イベントが行われました。日本在住者としては、東京都港区六本木で３０年以上に渡りクリニック（医療法人社団悠健ドクターアンディーズクリニック）を経営するアンドリュー・ウォン医師が同賞を受賞されましたが、弊所代表弁護士がアンドリュー医師の経営する医療法人の理事を務めているご縁から、私も授賞式に同行させていただくことになりました。
受賞イベントの様子などについて、旅行記としてまとめましたので、御笑覧ください。

～グシ平和賞（Gusi Peace Prize）とは～

グシ平和賞とは、フィリピンの私設財団 Gusi Foundation が主催する、世界平和に貢献した人物に与えられる賞で、「アジアのノーベル賞」とも呼ばれているそうです。
新型コロナウィルスの影響を受け、今回が３年ぶりの開催となります。
今年の受賞者は、学者、政治家、医師、軍人、実業家、作家、ファッションデザイナーなど、国は、オーストラリア、ブラジル、ペルー、中国、フランス、インド、イタリア、リトアニア、マレーシア、ノルウェー、台湾、フィリピン、サウジアラビア、スペイン、日本と、職種・国籍ともに多様性に富んでいます。

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

～１１月２２日～

成田空港から出国しました。
出発時の東京の気温は 10 度ちょっと。マニラは日中３０度を超えるということで服装に迷いました。最終的に、T シャツに携帯用ダウンとマウンテンパーカーという格好で行きました。

チェックインカウンターはがらがら。

チェックインは事前にオンラインで出来ました。

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

搭乗口近くにスターバックスコーヒーがありましたが閉まっていました。

両替したフィリピンペソ。

機内では、私が窓の外を見たがっていると、窓側の方が親切に窓カバーを開けてくれました。このようなちょっとした人との触れ合いが旅の醍醐味です。

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

マニラには現地時間 18 時（日本時間 19 時）に到着しました。

フィリピン入国の際には、事前にスマートフォンで「One Health Pass」に登録し、QR コードを取得しておく必要があります。（2022.11.22 時点）

「Mabuhay」とは「乾杯、万歳」などの意味とのことです。何かと挨拶のときに使われ、滞在中に何度も耳にしました。

空港からホテルまでのタクシーの値段は 1850 ペソ（約 4500 円）。後に、これが高すぎだったことが分かります・・・

空港から 30 分ほどでペニンシュラ・マニラに到着。受賞者は全員このホテルに泊まります。

ホテルの美しさに感動するともに、ここが授賞式の旅のホームとなるという、賞の規模の大きさを実感しました。

部屋に荷物を置いてからすぐに、アンドリュー医師と、スタッフの方とそのお子様がいるお部屋にご挨拶に行きました。アンドリュー医師は体調が優れないにもかかわらず、ユーモラスなお話で出迎えてくださりました。

翌日は朝早く、フライトやタクシーでの疲労感もあったので、夕食は食べず、22 時過ぎには就寝しました。

宿泊した部屋からの夜景

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

～１１月２３日～

４時に起床。５時にロビーに集合し、Gun Salute（祝砲のセレモニー）が行われる会場へバスで移動します。ロビーで待機している間、グシ平和賞の主催者である Barry Gusi 会長に会い、ご挨拶することができました。

移動は全て送迎バスで行われ、常にパトカーやバイクの先導・護衛がついていました。

６時頃、会場のリサール公園に到着

軍の方がリハーサルを行なっていました。

到着時には少し雨が降っていましたが、徐々に上がり、虹が出てきました。

手前左がオーストラリアの作家、右がイタリアの実業家、奥がノルウェーの研究者とご夫人。

７時にマニラ市長が到着し、セレモニー開始

初の女性市長。アンドリュー医師に代わりご挨拶させていただきました。

市長のスピーチ、警察による祝砲の後、モニュメントが設置されている場所まで受賞者一同で行進しました。（一緒に行進させていただいたため、この場面の写真は撮れませんでした・・・）

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

モニュメントの前で記念撮影。

日本からの受賞者、塩尻和子文学博士（イスラーム教研究者）の夫であり、元外交官である塩尻宏氏。

フィリピン海軍の方と。

Max's で朝食

セレモニーの後、地元の人達もよく利用するカジュアルレストランで軽めの朝食をいただきました。

バオバブの生春巻き

行く先々のレストランでマンゴージュースを飲むことができます。

道中でグシ平和賞の大きなポスターを見かけました。右は、ホストの一人であるブッディストの方。京都大学に 3 ヶ月留学していたそうです。

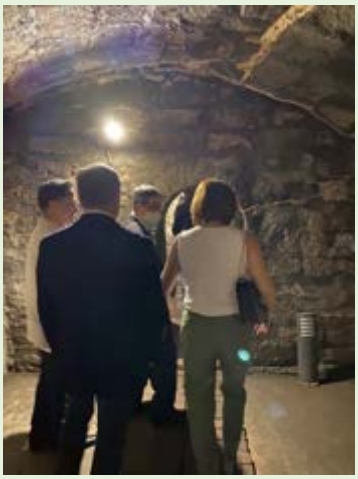
オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

サンチャゴ要塞を見学

破壊された要塞と豊かな緑が共存しており、今では美しい公園のようになっています。

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

併設されている国民的英雄ホセ・リサール記念館やフィリピン兵が収容された地下牢も案内していただき、フィリピンが受けてきた侵略の歴史に思いを馳せました。



案内をしていただいたガイドの方の話によれば、日本がこれまで行ってきたことは国民の歴史観の中に残っているそうです。見学後、オーストラリアの作家の方に、「長い歴史があったけど今は今」と声を掛けていただきました。

「国民的英雄」ホセ・リサールが眠るお墓

フィリピンの伝統的なイルミネーションのモニュメント

Rock Well Hotel でランチ

埼玉県に住んでいるインドの方は、何年も住んでいるが日本語は難しいと言っていました。
塩尻宏氏から外交官時代のことなど興味深いお話を伺うことができました。

食後は、参加者の皆様お疲れの様子。

ホテルに 15 時頃に戻り、夕方からのウェルカムディナーに向けて準備をします。
この間に、アンドリュー医師と写真撮影についての打ち合わせも行いました。

ウェルカムディナー

17 時にロビーに集合し、ウェルカムディナーの会場へ向かいます。

ペニンシュラ・マニラのエントランスにて。（左から）リトアニアの市長ご夫妻、私、アンドリュー医師、イタリアの実業家、ブラジルの研究者、アテンドスタッフの方。

出発したのは 17 時半。ディナーの開始予定時間は 18 時でしたが、実際に始まったのは 19 時頃となりました。マニラは交通渋滞が激しく、その後も度々遅れることがありました。

ウェルカムディナーと、翌日のアワードセレモニーには、地元の名手や有名人集まっているとのこと。左手前はフィリピンの国会議員。

左はアンドリュー医師、中央はパーティーコーディネーター。

ディナーの間には、各受賞者が一人ずつ紹介され、その合間ごとに、主催者、国会議員の方々のスピーチや、ダンスの出し物が行われました。

子供達のダンスは翌日もたくさんありました。

受賞者も一緒になって踊りました。

各受賞者に肖像画がプレゼントされました。

左がグシ平和賞主催者の Barry Gusi 会長。

塩尻ご夫妻と。

ホテルに帰り着いたのは 22 時半頃でした。

～１１月２４日～

この日は、夕方から行われるアワードセレモニー以外はフリーだったので、ゆっくり朝食をいただき、その後は周辺のショッピングモールにお土産を買いに行くなど、ようやく一息つくことができました。

朝食のブッフェはどれも素晴らしく美味しかったです。

フィリピンの焼きそば「パンシット・カントン」

生ココナッツジュース

右は「TAHO（タホ）」という豆乳プリンにカラメルとタピオカをかけたデザート

南国植物の街路樹の下を歩くのは心地良かったです。

「KULTURA」フィリピンでお土産を買うならここ。

ホテル内のフィットネスセンター

アワードセレモニー

17 時にロビーに集合し、バスでアワード会場へ向かいます。

ここでも渋滞にはまり、歩いた方が早いなどと冗談が飛び交っていました。

会場に到着。

各国の国旗を持ったフィリピン軍の方が待機していました。

セレモニー開始前の写真撮影

セレモニー開始直前には、受賞者は控え室で待機。それから一人ずつ行進、登壇、写真撮影を行なった後、スピーチを行うという流れで進んでいきました。

このセレモニーの様子は地元のテレビ局で生放送されました。

取材を受けるアンドリュー医師

全員総立ちでスピーチに聞き入る場面も。

私も来賓として登壇させていただきました。

リトアニアの市長夫人はバイオリニストで、生演奏のサプライズも。

前日の出し物がさらにパワーアップした形で行われました。

記念盾授与後の記念撮影

セレモニーの間は、カメラマンになりきって走り回っていました。

セレモニーの後、Late Dinner に行かれた受賞者もいましたが、我々は直接ホテルに戻りました。ホテルに帰り着いたのは午前 0 時近くでした。

～１１月２５日～

アンドリュー医師は終日イベント欠席されるとのことで、スタッフの方、そのお子さんと私のみ参加することになりました。

朝食。ゴーヤチャンプルーのような料理もありました。

南国フルーツの原産国だけあり、大変美味しかったです。

ランチ会場へ

当初 9 時集合でしたが、皆もっと遅くしてほしいということで 10 時発となり、結局出発したのは 11 時頃でした。

Tagaytay 市の裁判所

Cavite 市の市長の住宅でのランチ

１時間半ほどで到着しました。

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

中央のお皿は、tanigue というフィリピンの魚を使った料理

フィリピンバナナ

左上が埼玉県に住むインド人の実業家。その息子さんが、イタリアの実業家のご婦人と、スペインの研究者の方に折り紙を教えていました。奥のサングラスをかけた方はフィリピンのファッションデザイナー。

ランチの後、オーストラリアの作家の方と、これまでのキャリア（昔、弁護士をされていたのですが、物語を書くのが好きで、5 年ほど働いてから作家になったそうです）、ご家族のこと、私の仕事のことなどについてお話しさせていただきました。

当初の予定では、一度ホテルに戻って 15 時に再集合の予定でしたが、交通渋滞などの関係で、結局 15 時過ぎまでランチ会場にいて、ホテルに戻ることなく、直接ディナー会場に行って火山とサンセットを見ることになりました。

ディナー会場着

高台にあり、『世界一小さな火山』と呼ばれるタール火山と穏やかな湖が見渡せる美しい場所でした。

景色を眺めながらしばし歓談。

この数日間のハードスケジュールで皆様疲れてしまっており、“So long long day”などと話していました。

それでも楽しく合唱する受賞者達。

ディナー

ココナッツ餅。アテンドスタッフの方曰く、キャラメルソースとココナッツフレークをトッピングして食べるのがおすすめだそうです。

生ライブとプレゼント授与式

最後に、各参加者それぞれに対して労いの拍手がありました。中でも一番大きかったのは、道中ずっとパトロールをしていただいていた警察官の方々に対するものでした。

イベント終了後、オーストラリアの作家の方と最後のご挨拶をした際に、「将来あなたが素晴らしい法律家になることを願っている」と言っていただき、とても嬉しかったです。

帰路では、パトロールバイクのサイレンの音が懐かしく感じられました（出し物ダンスの子供達の掛け声と、このサイレンの音は、この旅の音の思い出です）。

22 時半頃ホテル着

アンドリュー医師のお部屋にご挨拶に行き、写真撮影その他諸々について感謝の言葉をいただきました。アンドリュー医師のお土産として預かっていたココナッツ餅は、事務所へのお土産としていただきました。

WhatsApp のグループに初日からの写真を一通りアップしてから就寝しました。

～１１月２６日～

朝食後チェックアウトして、タクシーで空港へ向かいます。

部屋から見えたマニラ最終日の朝焼け

フィリピンのお粥「GOTO（ゴト）」

渋滞していたものの、思っていたより早く空港に着きました。
道中は、ワールドカップの日本対ドイツ戦の話で盛り上がりました。
タクシー代はチップ含めて 300 ペソ（約 700 円）。初日の乗ったタクシーの 6 分の 1 以下でした・・・

無事帰国

入国審査前にスマートフォンで「Visit Japan Web」に登録し、QR コードを取得しておくことが必要でした。（2022.11.26 時点）

オーシャン綜合法律事務所 Ocean Law Office
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 YSK ビル 8 階
TEL 03-6435-9486 FAX 03-6435-9487

～最後に～

時間を共有することで絆が生まれます。このイベントの期間中、当初のスケジュール通りに進まないことが多くありました。そのような中で、参加者達の間には、「よく分からないけどまあ良いか」、「長い一日で疲れたね」というような不思議な一体感が生まれていました。

異国の地で人の温かさに触れることは、人の心を豊かにしてくれます。初日の飛行機で窓カバーを開けてくれた方に始まり、ホテルスタッフのおもてなしや、参加者とのちょっとした会話など、些細なことから人生は豊かになっていくのだと感じました。

受賞者の方々は、これまで真面目に働き、功績を残されてきた方ばかりです。それと同時に、皆様素晴らしい人格の持ち主でした。温和で、気さくで、人の話に耳を傾け、表には出さないが自分の信念を持っている。このような方々と直接お話しできたことは、自分にとってかけがえのない財産となりました。

そして、幼少期にフィリピン人の同級生の母親に英語を教わった私にとって、フィリピンの地で、このような素晴らしい国際交流をすることができたことは非常に感慨深いものがあります。様々なご縁があって今の自分があり、このご縁に日々感謝の気持ちを持って過ごしたいと思わせていただいた旅でした。

パトロールをしていただいた警察官の方々と。